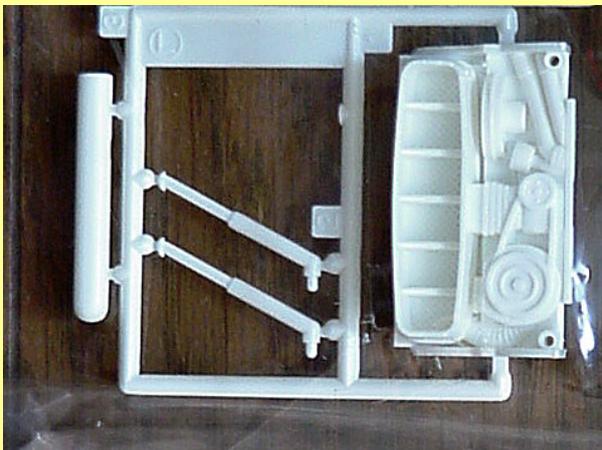


第44回 ルパンIII世「追跡」(ゲンゼ)の巻



今回は30代以上のアニメファンが当時欲しかった車No.1(当方推定)、おじさまことルパンIII世の愛車・フィアット500です。映画「ルパンIII世 カリオストロの城」での大活躍が印象に残っています(TVシリーズではベンツのオープンカーに乗る機会も多かったですね)。「カリオストロの城」については語ると長くなるのでいい加減にしておきますが、この歳になると銭形ですよ、銭形。上司の不条理な命令や周囲の事なかれ主義を許さぬその正義感、男児たるものかくあるべしです。とにかくおじさんになったら見なきゃいけない映画だと思います。

フィアットに話を戻すと、コンパクトな車体にルパン一家を収めて走り回る健気さに打たれます。特に「カリオストロの城」では物語冒頭のハチャメチャなカーチェースでにボロボロになってしまうのですがそこがまたカッコいいのです。車に疎いワタシはこれが外国車という位の認識しかなく、大人になったら購入しようと思っていた時期が確かにありました。今だと300万円弱位で買えるようです(情報元)。



「ルパンの」フィアットのキットはゲンゼから発売されていました。これは既存のハイテックシリーズ及びその廉価版のフィアットのパーツを流用したもので(詳細はこちらのサイトを参照)、ゲンゼ製カーモデルの特徴である軟質樹脂製のシートもそのままなっています(これが結構扱いに困る)。また、キャラクター性を持たせるべく、レジンキャスト製のフィギュアやアクセサリパーツ(テントやバケツ等)が付属するのがシリーズの常であり、このキットにも運転中のルパンと銃を構えた次元のフィギュアが付属しています。

このキットはルパンシリーズの中でもとりわけ人気が高く、オークションにてようやく入手できました。その理由はこのランナーにあると思うのです。劇中のハチャメチャな走りっぷりを思い起こすにはスーパーチャージャ付エンジン(公称100馬力、ちなみにノーマル状態は17.5馬力らしい)が欠かせませんが、このランナーは他のキットには付属しませんから。

キットデータ

メーカー	ゲンゼ
スケール	1/24
当時価格	2500円(税抜)